

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月24日

青森県知事 殿

提出者

住 所 青森県十和田市大字三本木字野崎1

氏 名 IHミートパッカー株式会社

代表取締役 乗池 秀隆

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 0176-23-7321

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	十和田ミートプラント（生産1課）
事業場の所在地	十和田市大字三本木字野崎1
計画期間	令和6年4月1日から 令和7年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	と畜業
② 事業の規模	令和5年度処理実績 小動物換算 214,833頭
③ 従業員数	69人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	・汚泥：自社で中間処理（脱水）→処理業者へ委託 ・その他：処理業者へ委託

（日本産業規格A列4番）



(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	—
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	—
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	—
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	—
	(今後実施する予定の取組)	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（ 5 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	汚泥
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	—
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	254,854.81 t
	(これまでに実施した取組) 汚泥に対し、曝気のエアー調整及び脱水により減量化を実施。	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	汚泥
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	—
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	250,000 t
	(今後実施する予定の取組) 汚泥に対し、曝気のエアー調整及び脱水により減量化を実施予定。	

(第 5 面)

② 計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	全 処 理 委 託 量	別紙のとおり
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	—
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	—
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	—
	(今後実施する予定の取組) 再生利用廃棄物については、再生利用業者へ処理を委託する。 委託処理業者には定期的に現地確認をする。	
※事務処理欄		

別紙 産業廃棄物処理計画と現状の一覧表

現状：令和5年度の処理状況

計画：令和6年度の処理計画

単位：t

項目	汚泥		廃アルカリ		動物系固形不棄物		廃プラスチック類		廃酸		計	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
① 排出量	256085.74	260000.00	1185.84	1200.00	123.79	130.00	1.75	3.00	0.06	1.00	257397.17	261334.00
②+③ 自ら再生利用する量												
⑤ 自ら熱回収する量												
⑦ 自ら中間処理により減量する量	254854.81	250000.00									254854.81	250000.00
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う量												
⑩ 全処理委託量	987.19	1000.00	1185.84	1200.00	123.79	130.00	1.75	3.00	0.17	1.00	2298.73	2334.00
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量												
⑫ 再生利用業者への処理委託量	987.19	1000.00	1185.84	1200.00	123.79	130.00	1.75	3.00	0.17	1.00	2298.73	2334.00
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量												
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量												

令和6年6月 日 IHミートパッカー株式会社十和田ミートプラント

